

# 幼 兒 の 遊 園

井 下 清

兒童の生活は遊びが總てであつて、其遊びの間に健康に成長し又智識も植付けられるものであるとすれば、兒童にとつては善き遊び場は、その育成に缺くことの出来ぬ大功なものであつて、充分な榮養と共に適當な遊び場を與へることが小供を善く育てるに最も大切な方法であると思ふ。

遊びは小供だけに必要なことではなく、成人でも老境に達した方でも極めて自然に思ひ浮んで來る活動性から來るもので、天來の本能とでも見るべきである。遊びの氣持に豊かな者は自然人として常に潑瀾な希望と歡喜を持つて居るやうである。遊びの氣のない者は如何にも干乾らびた人生を送つて居るのであつて、常に灰色な理屈で自らを束縛して此の二度と來ない楽しい生涯をまるで工場のやうにしてしまふのではあるまいか。是に反して常に小供のやうに遊びを生活の一面に持つて居れば何日迄も小供の様に若々しく愉快な人生を送られるのであると思ふ。

兒童には遊びが必要であるから善い遊び場を與へなければならぬと云ふことも其れを理論的に考へ事務的に實行したとて、それは生命のない遊びと遊び場であつて決して兒童の本能を満し暖い喜びを與へ

るものではない。それで須く兒童の遊びと其遊園を研究し經營するには先づ此の精神を理解し小供と共に遊ぶ氣持に於てしなれば形だけの設備であつて、充分な働きを望むことは出來ぬ。殊に其の經營に於て小供と善く遊び導くだけの天分ある人に其大任を委ねることを前提として考へねば、如何に形に於て完備した遊園でも空地が材料置場で小供達が危険な遊びをなすのと少しも變らないことになる。

兒童遊園は小供の遊びの程度に依つて少年、少女と幼兒の三段に分けて考へることが出来る。此の分け方は國に依つて異り、遊びの趣味の旺んな處では其年齢的限界が高く、それに反對な處では低いのであるが、八九歳以上十三四歳迄の男女兒を少年、少女とし八九歳以下三四歳位を幼兒とするのが善い様に考へられる。十四五歳以上は兒童遊園の境を脱して青年組の下に入れる。殊に我國の如き早く小供がませる國に於ては此の程度ではないかと思ふ。之等の兒童遊園の内て幼兒期の小供の遊び場に就て鄙見を述べて見たい。

幼兒遊園は幼稚園の運動場でも公共的の兒童遊園であつても先づ相當な地域を得たい。幼兒期の遊びは極めて自然的でありたいので狭い處に設備本位の器械場の如きものとすることは過當でない。園は大體三區に區分して考へるのであつて、先づ中央には綠蔭樹で圍まれた自由廣場を置き其處で各種の集團遊戲や球戲をする。お祭りもやれば、鬼ごつこ、人とりもする。其一方には簡単な上屋か冷亭の如きものを設けてお話しのお會や音楽、舞踊會のステージになる。時としては食堂晝寢のお家になつてもよい。

廣場は粘土質の土で平坦に造り粗目の砂を敷く方が自然であつてアスハルト、タイル、コンクリートなどは避けたい。若し裝飾と利用上の必要から一部を廊下か露壇の如く敷石をしたい場合には色の美しい凝灰岩や砂岩類か又は粗面の色タイルを美しく廣場面と殆ど同高に敷くことがよい。

右の中央廣場の片側には色々な遊びの設備を配置した庭を設ける。幼児の遊びとしては第一に砂場であり第二も砂場である。砂場は地面より低くなく小高く盛上つたものがよい。其縁は周囲の土と混らぬだけの設備がほしいので板でも人造石でもよい。石なれば遊び臺を兼ねて上巾を六七寸以上地上八寸位の高さにすることも善い。此の場合全圍に設けるよりは半分位にして置く。砂の深さは地面下六七寸位迄入れ其底は排水を善くする爲め割栗張りの基礎を設けて置くことがよい。砂の質は泥や塵の無い砂で常に握れるだけの湿度を必要とする。砂場の形は何んでもよいが四角よりは圓形とか圖案の形の方が趣があろう。然し砂場は唯單に廣場に清砂を盛上げたゞけて充分なのであつて兎角に必要でもない形に囚われて肝心な砂が尠なかつたり不潔であつたりすることが多いのは遺憾なことである。

砂場の附近には綠蔭樹が必要であるが盛砂の上は充分の日射がある方が善い。病弱兒は別であるが普通の小供には充分な日射に浴して勞働することは自然の慈母に育まれてるやうなものである。砂場は手入が必要であつて放任された砂場な塵箱のやうなもので衛生上怒るべきものとも考へてよい。砂は毎日之れを鋤返し瓦礫其他夾雜物を除き充分日射を與へあまり汚れたら取替へ散逸したなれば補給して適

度の湿度を與へて小供が遊ぶ前に山のやうに盛上げて置く。此の手入は完全に實行して居る處は誠に尠なり。

此の砂場で小供はいろ／＼の形を作つて創造的智能を開發し、勞役の快味を味ふ。

砂場の外に種々の鞆繩を設ける。巾三寸位の板に腰を掛ける普通のものから椅子又は籠のもの、二人又は四人向ひ合つて掛けるもの、吊環式のもの等があるが何れも高きは此の年齢では地上七尺以下とする。鞆繩の下には砂は不用であるが木煉瓦など敷くことはよい。年少の小供には移動式のことを備へ木蔭から木蔭へ移すもよし。

滑臺は高さ六尺までの全部木製でこれも移動式のものをも備へることがよい。これは鞆繩の如く自ら動搖の程度を増減することが出来ないから高さと勾配の異なるものを備へ順次弱いものから強いものに移ることが必要であらう。

シート、地上の高さ一尺二三寸位の長さ七八尺位のものが適當であつて緩衝設備のあるものなれば一層よいが普通のものを巧に乗りてなすことに遊びがある。

其他懸垂的興味を満す爲めの金棒、水平又は山形階梯なども低いものなれば危険はない。簡單なものとしては彈力板と杭木渡りなども適當な場所があれば幼児に喜ばれる。

高い處へ登る本能を満すには滑臺もあるがそれよりは原始的な木登りを安全に装置した梯登り又は梓上

りなどがあるが何れも高さは六尺位を限度とし材料は鐵製が安全であるが、常に注意して管理するならば四谷丸太で組合せる方が善い。

此等の設備は放任して置くのでなく巧に指導して利用したなれば小供の冒險心と征服心を満し其間に精神の安定と體力を増進し忍耐と努力の習慣を植へ付けることになる。

之等の設備的運動場と相對して自由廣場の他の側には自然を味はい自然智識を與へる庭園を置きたい。第一は割合に廣い芝生であつて、毎日茲で遊ぶことは出來ぬが芝が維持される程度に於て時々此の上で遊戯や踊やピクニックもお話しの會もする。芝は日本芝で常に充分な肥培手入が必要である。日射が充分で手入が行届けば相當に利用しても割合に損傷するものではない。

其傍には花壇と菜園を設け小供自ら花を作り野菜を作るのであるが、熱心な大人でもなか／＼上手に作れぬものを小供に任す事は勿論困難なことであれば、小供に一度不成功の失望を味はずと善い影響を與へぬからこれは指導者が豫め研究をして失敗のない様にする必要がある。

自然味を與へることは此の園藝的の區域のみでなく全園に風致と日蔭に種々の樹木花卉を植へるのであつて其等が總て自然教育の資料と見て善い。

遊園が斯く三區に分れるとは云へ、其れは説明上の計畫であつて、實際には地形や環境に依つて其れに適應した設計を爲すべきであるが、全國を統一して兒童の王國として考へる必要がある。それは遊び

が兒童の總てである以上、此園は其の王國であり家である氣持を持たして社會的に見聞するものが何等かの形式で備はることが出来れば申分ない。又遊戯に於ても行列をなして遊ぶ行進の如き場合全園を廻遊し得る地割がほしく。

之等の運動場の廣さは收容兒童一人に對し一坪以上三坪を必要とし其れ以上であれば二部制にでもするより外はない。

附屬設備としては幼稚園又は小學校の如き戸內的施設を本體とするものには必要はないが、戶外遊園のみの場合には遊具置場、携持品預場と管理者詰所等を兼ねた事務所の如きものと兒童の休養と冬期の戸內的遊び又は手工講話食堂等に使用する上屋、便所、手洗所、足洗所、水湯の呑場、時計などの外充分の休養腰掛が必要である。外に兒童の爲めなく保護者用の休憩所腰掛等も考へなければならぬ。

然し幼兒遊園としては他の兒童遊園と同様に幼兒を巧に取扱ふ善い指導者が何よりも大切なことであつて、それには小供を善く理解し快活にして健康な人格者であつて遊びと話し、手工、音樂等の技倆ある人でなくてはならぬ。然も小供に好かれる素質の人であるべきは勿論である。

要するに幼兒の遊園には廣い處に善い設備と善いお母さまかお兄さまが必要であつて此の何れを缺いても善い遊園とは云ふことが出来ぬ。(四、七、一一)